

(技術名) サトウキビ畑で活用する雑草防除マニュアル							
(要約) サトウキビ栽培において発生する 86 種の雑草について、科名、方言名、特徴および防除方法を記載した雑草防除マニュアルを作成した。県内各地域の状況を網羅しており、本マニュアルに基づくことにより、適切に、省力的で安全な雑草対策ができる。							
農業研究センター・作物班					連絡先		098-840-8505
部会名	作物	専門	栽培	対象	サトウキビ	分類	普及
普及対象地域		沖縄県全域					

[背景・ねらい]

県内各地のサトウキビ畑において、帰化雑草やつる性雑草等が多く発生し、サトウキビの生育、収量および収穫作業等に悪影響を及ぼしている。また、雑草種の判定が困難であったり、雑草の発生状況に関わらない誤った薬剤の選択、各種薬剤の混用、他の作物や近隣へのドリフト等、除草剤の適切な使用方法についての問題も多い。さらに、農業機械で省力的かつ迅速に行える物理的防除法への要望も多い。そこで、県内各地のサトウキビ畑における様々な状況を把握したうえで、サトウキビ栽培における技術指導で活用するための雑草防除マニュアルを作成する。

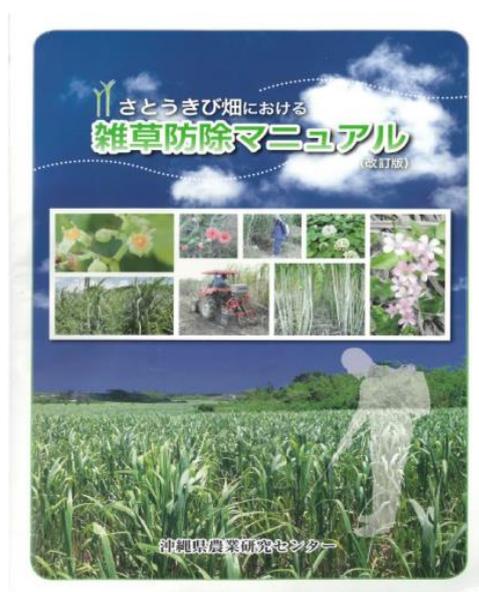
[成果の内容・特徴]

1. 雑草防除にかかるこれまでの技術情報を全て取りまとめ、新たな技術情報を加え、「さとうきび畑における雑草防除マニュアル」を作成した(図1)。
2. 本マニュアルは、各地の雑草発生状況、雑草種の判定、安全な除草剤の活用と効果の事例、農業機械による省力的な雑草防除の事例等で構成される。
3. 雑草防除の方法では、除草剤の解説、各剤の散布や利用方法、雑草防除体系、ドリフトの低減対策等を具体的かつ詳細に記載しており、技術指導の際に欠かせない情報も掲載している。
4. 沖縄本島南部地域で問題となっている難防除雑草のヤブガラシ類については、防除マニュアル(平成27年3月農林水産部)を掲載している。
5. 各地の雑草発生状況について、作型の構成、雑草の発生数、優占している草種などを地域別に掲載しており、状況の判断や防除計画作成に役立つ。
6. サトウキビ畑で発生している雑草種(一年生イネ科10種、カヤツリグサ科2種、多年生イネ科8種、一年生広葉51種、多年生広葉15種)を掲載している。各草種の科名、学名、方言名、写真と特徴が簡潔に示しており、雑草種の確実な判定に役立つ(図2)。
7. 農業機械による雑草防除の事例では、牽引式の中耕除草機による物理的防除等を紹介している。雑草の発生状況や、経営規模に応じた防除計画作成に役立つ。

[成果の活用面・留意点]

1. 本マニュアルは、サトウキビ栽培に関わる関係機関、団体等へ配布済みであり、指導者および担い手に広く利用されると期待される。
2. 本マニュアルを活用した適切な雑草防除によってサトウキビ収量の安定や向上を図りつつ、変化していく雑草発生状況や栽培手法等に応じながら、雑草防除に向けた薬剤の利用や農機類の活用などを更新していく必要がある。
3. 雑草発生調査は、沖縄県全域を対象としておこなった。
4. 本マニュアルは、沖縄県農業研究センターホームページからダウンロードして活用することができる。

[具体的データ]



目次

はじめに
 第1章 適期雑草防除の意義
 第2章 さとうきび畑における雑草防除の方法
 第3章 さとうきび畑に発生するヤブガラシ類の防除マニュアル
 第4章 各地のさとうきび畑における雑草発生状況
 第5章 さとうきび畑において雑草として生き抜く特性
 第6章 さとうきび畑の雑草
 第7章 イネ科雑草による病害虫防除
 第8章 除草剤の活用効果の事例
 付表、参考書・引用文献、索引
 おわりに

図1 雑草防除マニュアルと目次

第6章 さとうきび畑の雑草

1) 一年生イネ科雑草

メヒシバ

科名: イネ科
学名: *Digitaria ciliaris* (Retz.) Koeler
方言名: ガキナ
特徴: 世界の熱帯から亜熱帯に広く分布する一年生草本。茎は細く、基部は分枝しながら地表を這い、節々から根を伸ばす。花茎の先端に数本の穂が伸びる。葉鞘と葉の周辺に長い毛がある。



エノコログサ

科名: イネ科
学名: *Setaria viridis* (L.) Beauv.
方言名: ムシグワグサ
特徴: アジア、日本全国に広く分布する一年生草本。雑地、道端などで普通にある。宿熟ネコジヤウシ。穂はまばらに林立して高さ30~70cmになる。葉鞘の縁に軟毛がある。頂部に長さ2~5cmの円柱形の穂をつくる。



図2 各草種の解説例

[その他]

課題 I D : 2012 農 009

研究課題名 : 新たな時代を見据えた糖業の高度化事業

予算区分 : 沖縄振興特別推進交付金

研究期間 : 2012~2017 年度

研究担当者 : 比屋根真一、出花幸之介、伊禮信、下地格、仲宗根弘晃、大城良計、比嘉正徳、
 與那嶺介功、赤嶺伸一、高江洲賢文

発表論文等 : 比屋根ら (2015) 日作九支報、比屋根ら (2016) 日作九支報